「物性化学スライド 2025」「物性化学ノート 2025」（豊田太郎）　正誤表　　　　2025 年 5 月 23 日版

第 1 回

スライド P.26　ノート P.12

図 1-14

ΔH°

↓

$\Delta_r H^\circ$

スライド P.18　ノート P.10

分圧p_iの成分iの化学ポテンシャルμ_iは，P_tを全圧として，

$$\mu_i = \mu_i^\circ + RT\ln(p_i/P_t) \qquad (1.20)$$

とかける。つまり，補正分は $RT\ln(p_i/P_t)$ である。

↓

分圧p_iの成分iの化学ポテンシャルμ_iは，標準状態を1気圧として，

$$\mu_i = \mu_i^\circ + RT\ln p_i \qquad (1.20)$$

とかける。つまり，補正分は $RT\ln p_i$ である。

第 6 回

ノート P.6 欄外 14

骨格が折れ曲がることによって不安定化するπ電子の分子軌道（1π_u, 1π_g）がある。しかし，そのエネルギー不安定分を補えるほど安定化する分子軌道（1π_u, 2π_u）を電子が占めていれば分子は二等辺三角形構造となる。

↓

アリルラジカルでは骨格が折れ曲がることによって不安定化するπ電子の分子軌道（1π_g）があり，電子 1 個が占めている。しかし，そのエネルギー不安定分を補えるほど安定化する分子軌道（1π_u）を 2 個の電子が占めているので，アリルラジカルは二等辺三角形構造となる。

第 8 回

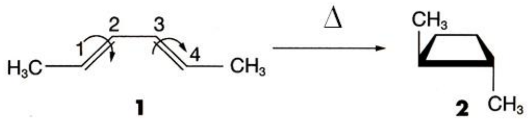
スライド P.7

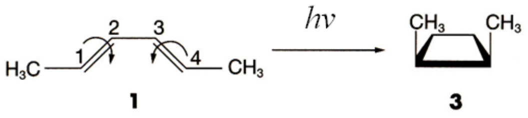
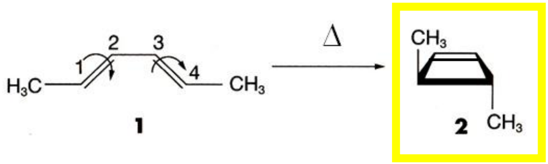
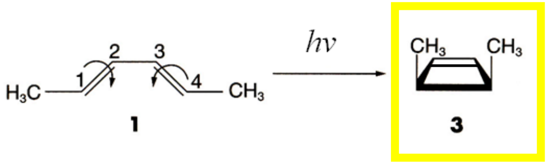
トロ本

↓

トロポン

スライド P.9





↓